

令和4年度 甲府一高進路指導だより

～Boys, be ambitious!～

(令和4年4月)

【Boys, be ambitious!】

新入生の皆さん、山梨県内随一の伝統校である甲府第一高校入学おめでとうございます。大きな夢や期待を胸に、入学の日を待っていたことと思います。

2年生、3年生の皆さん進級おめでとうございます。甲府一高での2年目3年目の生活が始まろうとしています。

まず最初に、進路指導だよりのタイトルについて紹介したいと思います。本校の校是の一つで、札幌農学校（現北海道大学）の初代教頭であるウィリアム・スミス・クラーク博士が1期生との別れの際に送った言葉とされています。有名なのは Boys, be ambitious! のフレーズですが、実は続きがあります。生徒昇降口階段の1・2階間の踊り場上方に校章入りの旗が掲げられています。全文を紹介すると、“Boys, be ambitious! Be ambitious not for money or for selfish aggrandizement, not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be.”となります。昭和39年3月16日付朝日新聞の天声人語では日本語訳として「青年よ大志をもて。それは金銭や我欲のためにではなく、また人呼んで名声 という空しいもののためであってはならない。人間として当然そなえていなければならぬあらゆることを成しとげるために大志をもて」と掲載されたそうです。「私利私欲のためではなく、人間的な成長をとげるために大志をもて」のようなメッセージが込められているようです。

【1年生：新生活】

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私たち教職員一同は皆さんの高校生活が実りの多いものになるように全力でサポートしていきます。進路指導係は、一高における教育活動の企画や運営を担う部署です。高い教養を身に付け、日に新たな自分を発見し、卒業後の進路実現が叶うように皆さんの手助けをしていきます。

さて、高校生活は大変忙しいと言われます。これは、高校生になると勉強内容が急激に難しくなることや、部活動の活動時間が長くなること、さらに生徒によっては通学時間が長くなること等、中学時代よりも日々の生活のハードルが上がることによって引き起こされるのだと思います。早く高校の生活リズムに慣れて、家庭学習の習慣化が進むと、忙し

さの中にも充実感に満ちた生活が送れることでしょう。わからないことがあれば先生方や先輩たちに気軽に質問してください。

【2年生：中だるみしないために】

2年生は中だるみしてしまうとよく言われます。高校生活を1年経たことにより生活のリズムが定着したのは良いことですが、受験までまだ1年以上あるという慢心から少し勉強に手を抜いたり、怠惰な生活になったりすることが主な原因のようです。30年以上前、先生が高校生の頃もこのように言われていました。故に、こうした傾向は一向に改善されていないようです。皆さんに伝えたいのは、日本の高校生全体的な傾向は中だるみの2年生であるかもしれませんが、中だるみするかしないかは各個人の意識と行動で変化するということです。全体的な傾向とは集団内の多数の動きによって形成されます。決して全ての人がこれに当てはまっているわけではありません。中だるみしない高校2年生も実際に存在しているのです。「周りもこんな感じだから自分もこのくらいでいいや」のような発想は決して持たず、人は人、自分は自分と強い決意を持って周囲に流されずに行動をして欲しいです。そして、中だるみしない生徒の数が増えるほど、一高の2年生は決して中だるみをしない集団になることが可能であると思います。

【3年生：勝負の年】

3月末に卒業生からの合格体験講話と前年度3学年担任講話を聴講しました。講話を聴くときの皆さんの真剣な姿から、いよいよ自分の番がやってきたという自覚を持っている印象を持ちました。今後は講話から学んだこと感じたことを個人の取り組みに落とし込み、これまでよりも質の高い勉強をして欲しいと思います。先生は昨年度3年生の担任をしていたのですが、この時期から目の色を変えて勉強に取り組む生徒が増加したのを覚えています。その後のクラス内の変化を説明すると、こうした生徒の数が増えていくにつれ、周りの生徒達も感化され、クラス全体の雰囲気も大きく変わりました。始業前、休み時間、放課後と絶え間なく教室で勉強する生徒が増え、同時に授業中の生徒の取り組み方もより集中して臨む形になりました。クラス全体がお互いに励まし高めあいながら生活する集団となり、良いスタートがきれたと感じました。さて、新クラスも発表となり新しいクラスでの船出となります。昨年度の3年生と同じように、それぞれのクラスが一体となって頑張る集団になって欲しいと願っています。